

会 議 録

- 1 附属機関の会議の名称 水戸市観光審議会
- 2 開催日時 平成31年2月22日（金）午後2時から午後3時40分まで
- 3 開催場所 水戸市役所本庁舎 4階 中会議室3
- 4 出席した者の氏名
 - (1) 委員 加藤 高藏, 田口 米藏, 大橋 章, 林 太一, 石井 修, 楢崎 ひろ子, 久信田もと子, 鹿倉 よし江, 伊藤 明美, 大関 茂, 前田 拓哉, 澤 利彦, 小川 啓子, 矢島 敬子
 - (2) 執行機関 産業経済部観光課 堀江課長, 岩間副参事, 川俣課長補佐, 根本企画物産係長, 佐藤事業係長, 秋葉主幹
- 5 議題及び公開・非公開の別
 - (1) 先導プロジェクトの進捗状況について（公開）
 - (2) 具体的な取組について（公開）
 - (3) その他（公開）
- 6 非公開の理由
- 7 傍聴人の数（公開した場合に限る。） 0人
- 8 会議資料の名称
水戸市観光審議会資料, 水戸市観光審議会委員名簿, 水戸市観光審議会条例,
水戸市観光基本計画（第3次）

9 発言の内容

1 開 会

2 あいさつ

- ・執行機関あいさつ
- ・委員の委嘱及び紹介
- ・会長あいさつ
- ・諮問書の交付

3 議 事

(1) 先導プロジェクトの進捗状況について（2018年度）

執行機関 <観光審議会資料①について内容説明>

委 員 偕楽園には99万人来ているが、弘道館はその10分の1しか来ていない。人気がないのか。

執行機関 平成25年度からの数字としては、偕楽園は毎年100万人付近で推移してきたが、弘道館は、平成25年度の約45,000人と比べて大幅に増加しているといえる。その理由としては、平成27年度に日本遺産に認定されたことが大きいと考えられる。

委 員 インバウンドについて、これまで市内ではなかった通訳の依頼が最近が増えてきた。ひたちなかの港に海外のクルーズ船が来るが、船が到着後のオプションルツアーのうち、1つは偕楽園、弘道館に行くと聞いている。クルーズ船の乗客は英語圏の観光客だそうだ。水戸への訪問に期待している。

(2) 具体的な取組について（2015～2018年度）

執行機関 <観光審議会資料②について内容説明>

委 員 コンベンションの開催助成金の中で、看板費用の助成制度があるようだが、上限1万円は少ないと感じる。つくばが助成額が多いと聞いている。

委 員 つくばは、参加人数がとても多い。

委 員 コンベンションの誘致については、規制緩和や助成金の拡充をお願いしたいと感じる。

執行機関 コンベンションの開催助成金について、その上限額については、来年度から、これまでの10万円から50万円に拡充する形で調整を進めている。東町体育館などで開催予定の大規模な大会もあるので、そういったところで活用いただければと考えている。

委 員 周遊バスは、梅まつりなどにおいてとても人気があるので、もっと利用しやすくするため運行回数や開催日数を増やしたりはできるのか。また、七ツ洞公園に

行けるようにすることはできないのか。

執行機関 市の周遊バスは、四季それぞれの花のまつりにおいて、回遊性を高める取組として運行している。年間予算の関係もあり、難しい部分もあるが、内容については御意見を踏まえて運行を行いたい。なお、七ツ洞公園については、水戸のあじさいまつりの時期に運行している周遊バスにおける周遊地の1つとして、既に設定しているところであり、市内の観光資源を連結させて観光客の滞在時間を延ばしたいと考えている。

委員 納豆の消費量を増やす取組が必要だと思う。水戸の人がもっと納豆を用いたメニューを研究し、創出していけば、消費量は増え、納豆のまち水戸としてPRできるようになっていくと思うので、女性グループの活動などでも納豆料理の創出をしていくのがよいのではないか。

委員 昨年、商工会議所で納豆料理の面白い食べ方について、全国公募のコンテストを行ったところである。

執行機関 納豆の消費金額については、ニュースになりやすいので記者の方々にも御注目いただいている。来年度からは、本市の政策として、納豆を活用したPR活動の推進を位置付けたところであるので、商工会議所などの取組と連携し、納豆ブランドを活かした水戸ならではの事業を進めていきたいと考えている。

委員 納豆消費金額において、水戸は1位を逃しているところだが、納豆消費金額の高い盛岡では何か特別な取組をやっているのか。

執行機関 納豆巻きの発祥の地であるらしいが、取組としては特段ないと聞いている。

委員 水戸の納豆は小粒なので、大粒の納豆を扱っている地域と納豆消費金額で比較するべきものではないのかもしれない。また、納豆消費金額のランキングそのものについても、どこまで正しいのか。統計のやり方によって変わってしまうものであると感じる。

委員 水戸に近々、納豆ご飯専門店ができると聞いたので、納豆ご飯を食べたい観光客向けにお勧めできるのではないかと考える。

委員 梅酒まつりをテレビのニュースで見て感じたことだが、イベントなどの情報をテレビで放映されると観光客に来ていただけると感じるの、やはりテレビでの影響力は強いと考える。

執行機関 2017年のプラタモリの放映後には、偕楽園を含む水戸市への集客効果がとても高かった。今後も、テレビに取り上げてもらえるようにするための情報提供ができるよう、取り組んでいきたい。

委員 おもてなしマイスターについて、S級のライセンスを取った後に活躍できる場

がないと感じる。制度ができた後にどうするかまで一步踏み込んで取り組んでいただきたいと思う。

執行機関 おもてなしマイスターについては、市と商工会議所で連携しながら取り組んでおり、今年度、マイスター同士の意見交換会を開催し、どういう活躍の場が考えられるか、意見交換を行ったところである。梅まつりや国体も含めて、今後の活躍の場を提供していきたいと考えている。

委員 先ほども話に出たが、偕楽園と比べ弘道館への来客数が少ないことが残念。弘道館については、9月にできる大手門と絡めてPRしていくのがよいのではないかと感じる。また、大きな看板などで弘道館や水戸城址を案内すべきではないか。

執行機関 大手門や二の丸角櫓、白壁の整備のほか、弘道館の東側用地の整備も進めている。また、周辺の回遊ルートとして、水戸学の道を観光客の方に御案内している。水戸城周辺の分かりやすい案内については、周辺整備とともに一体的な実施を行っていくこととしたい。

委員 偕楽園の有料化について、急きょ湧いたような話だと感じている。ともに楽しむ偕楽園であるのに、県民が無料で県外の方が有料というのは、発想的には逆だと思う。管理者である県のほうで、水戸の歴史も踏まえて、しっかりと話し合っていたきたい。

委員 園の整備には費用がかかるので、個人的には300円くらいの料金だったら県内外とも入園料を払うべきだと思う。毎日行く人は、年間1,000円でパスポートを発行するなどすればよいのではないか。

(3) その他

会長 本日の意見をまとめ、答申を行う。内容は会長に一任いただく。

4 閉会